

# ま な び や 目黒の学び舎から



聖契神学校ニュースレター No.30 2012年2月15日発行 発行人 関野祐二  
〒153-0061 東京都目黒区中目黒 5-17-8 聖契神学校 電話 03-3712-8746 FAX 03-3712-8804  
URL: <http://www.seikei-seminary.org/> E-mail: [covenant-seminary@nifty.com](mailto:covenant-seminary@nifty.com)

---

主の聖名を讃美いたします。

いつも聖契神学校のため、お祈りとご支援をいただき、ありがとうございます。小学校文集に「将来ベルリンフィルを振る」と書いて、その夢を昨年ついに実現し、大成功を収めた日本人指揮者の話をラジオで聴きました。何もしなければ夢は夢で終わり。でも夢を忘れず貪欲に弟子入りしスキルアップするなら、チャンスは巡って来るのですね。翻って、我ら主の栄光のためハングリーに自分を聖め、磨いてお仕えする。それなりにとか、ほどほどになどと妥協しない。自分なりに、でもない。ああ主よ、そんな熱く煮えたぎる弟子にしてください。「自分の十字架をかってわたしについて来ない者は、わたしの弟子になることはできません」(ルカ14:27)。

校長 関野祐二

## ● 「ハブ空港」とは気障ですが

航空網の中継を役割とする拠点空港のことを、車輪に見立ててハブ空港と呼ぶそうです(蛇とは無関係)。スポークが航空路線、中心軸がハブですね。明日の宣教に資する教会との協力関係について、神学校の立場で書いてくださいと頼まれ(難しいテーマでしょ)、浮かんだのがこのイメージでした。「神学校は、諸教会を含む教団教派や超教派団体とリンクするハブ空港のような存在。神学生が集まり、情報が共有化され、活発な探求と議論が交わされます。ここで形成されたキリスト教界ネットワークは、神学生が卒業後、遣わされた地域教会においても、かけがえのない力となるでしょう。そのようにして、神学校は地域教会に仕えたいのです」(クリスチャン新聞2012年1月1/8日号より部分引用)。出発点は教会、目的地も教会(あるいはパラチャーチ)、神学校は中継基地でしょうか。飛行機は整備場に誘導され、航空整備士によるチェックを受けます。

今年も四十名弱の希望者と個人面談をする中、請われて(!)例年になく厳しい指摘や忠告をしました。エネルギーが要ります。心が騒ぎます。でも今こそ整備する時、この環境こそ修理する場。「悔い改めます(ました)」との報告を聞くと、正直ホッとします。そして、こちら側も足りなさを悔い改めつつ祈っていただくのです。そう、教師にとっても神学校はハブ、なのですね。

## ● 賛美ゲストと隠れファン

「歌う信仰告白」がキャッチフレーズの賛美伝道者Nさんと出会ったのは、数年前の松原湖。詩の深さと歌の力に共感し、隠れファンを自称して交流を深め、札幌の伝道会議でピカイチの奉仕をした彼女と感動の再会をして、いつか神学校チャペルにお招きしたいと画策していました。公平性を考慮し、音楽宣教師のデピュテーションという形態で実現したのは今年の1月。ピアノ弾き語りのリハーサルで、持参のボーカルマイクを通した歌声が響き渡った瞬間、背中に電気が走り、ああお招きして良かったと実感。夜チャペルは延長しても40分間でしたが、メッセージと真摯な証し、歌2曲が見事にアレンジされ、神学生と教師は圧倒されたのでした。CDもたく

さん売れたし、よかったよかった！ 謙遜に主のしもべとしてお仕えする、イエスさまより自分が上になったら何度でも悔い改めて生きよ、そんな生き様が心に残りました。わが書斎のオーディオシステムでその声を再現すべく、日夜奮闘中（なんとご本人にも成果を聴いてもらいました）。本校卒業生にも賛美伝道者が複数います（Nさんも他校の卒業生）。続く献身者はいませんか？

## ● 備えあれば雨天なし！？

なぞなぞひとつ。聖契神学校で売っていて、フツの神学校ではまず売ってないものナンダ？ 答えは日食メガネ。もちろん5月21日金環日食に備えての必須アイテムです（下敷きやスガラスで太陽を見たら絶対だめですよ）。先日、出入りの望遠鏡ショップで品定めをし、神学校廊下に見本を置いて注文を取り、15セット販売（儲けなし）。「一般啓示（自然啓示）の豊かさを学ぶ絶好の機会です」と、取って付けたようなふれこみでした。一週間先のレポート準備もままならないのに、四ヶ月も先の備えをするなんて。いえいえ、直前になると売り切れて困るからです。階段前の鉄扉には、日食ポスターを貼って啓蒙活動。その時には見事な太陽リングが見えるはず。「雨が降ったらどうすんですか」と、お決まりの悲観的質問が来ました。おーい神学生、信仰を持って祈りましょうよ。「信仰は望んでいる事からを保証し、目に見えないものを確信させるものです」（ヘブル11：1）から（少し文脈違うけど）。そういえば、昨年12月10日（土）の皆既月食は素晴らしかったですね。本館屋上で、湯たんぽを抱きながら赤銅色の月を堪能しました。意外と寮生の観望が少なかったのは土曜夜の忙しさゆえ？ あれ、誰かさんも牧師でしたっけ。

## ● どうなる卒業式&入学式

3月12日の卒業式が近づきました。去年は3・11の三日後で都心がマヒ状態、余震も続いて痛恨の中止（卒業生は各々現場で活躍しており安堵）。今年こそはと意気込んで準備しつつも、別の心配が頭をよぎります。それは、12名の卒業祝いに駆けつけてくださるお客様方を収容しきれるか、という施設キャパシティの懸念。式を行うチャペルはともかく（百二十人の実績有）、レセプション会場の旧食堂はどうでしょうか。数年前の卒業感謝会は満員電車状態で押し合いへし合い、用意したお寿司が10分で完売したこともありましたっけ。二階廊下のロッカーを（台車に乗せて）移動し両側の教室をぶち抜いて、とも考えたのですが、実測してみたら面積はさして変わらず、デメリットを勘案してやむなく断念。あとは食堂カウンター内側の厨房スペースに在校生を詰め込む（ええっ？）くらいしか、アイデアが浮かびません（誰か助けて！）。でも昨年（そして被災地）を思えば、卒業式を予定通り行えるだけでも大感謝で、来客も制限はしたくありませんし、主にゆだねてどうにかなるさ（どうにでもなれ？）、ですね。心を込めて準備しますから、どうぞおいでください。主イエスの周辺がいつも祝福で混雑していたことを思い出します。

入学式は... 受験者数次第です。資料請求や学校見学者はそれなりにあるので期待はしているのですが、どうでしょうか。2月末の願書締め切りまであと少し。まだ間に合いますからお問い合わせください。各年齢層に亘る学びの仲間がたくさんいますから、充実した学びが出来ますよ。

## ● 聖契神学校の予定と祈りの課題

- ・ 卒業を控えた12名の学びと卒業後の働きが守られるように。在校生の後期授業（3月10日終了）が支えられ、新年度に向かって良き準備が出来るように。
- ・ 3月2日の入学試験に向けて、新年度、新たに学ぶ献身者が多く与えられるように。